

10月にNETIS登録

古垣建設 転圧機能持つバケット
古ウエダ産業



【小樽】古垣建設（本社・余市）とウエダ産業（同・大陂）が共同で開発した「ピストン式油圧振動装置を装着したバケット」が、10月19日付で国土交通省の新技術情報提供システム（N

ETIS）に登録された。従来の法面工事では、人が転圧機で法面を固めるか、バケットで7〜8回法面をたたくのが一般的だったが、この技術では、振動機能を持つ

作業効率と安全性向上が期待される

バケットを3秒間法面に押し付けるだけで転圧が完了する。重機から人が降りなくて済み、現場の作業効率や安全性も高まる。

九州地方整備局発注の管路工事現場や、東北地方整備局発注の堤防法面工事現場で使用実績があり、来年からは販売を予定する。

古垣建設の古垣恒次社長は、従業員の高齢化や人員不足を踏まえた上で「日本で初めての転圧機能を備えたバケット。省力化が期待できるので、10年後にはかなり普及してくると思う」と期待している。